



総務副大臣

上川陽子先生

スペシャルインタビュー!

子育てママの代表!
上川先生に聞く 第2回
3回シリーズ

「やってごらん」。その言葉が私の道を切り拓いた

母であり、妻であり、国会議員。そして、壁にぶつかっても力強く前進するひとりの女性。
今年9月に総務副大臣に就任、重責を担いつつも朗らかに日々を楽しむ上川先生の生き方には、
子育ての、そしてママたち自身を輝かせるヒントがいっぱいです!



ライフステージに合わせて
自分の世界を持つて

私自身のことを言うと、今でこそ長時間労働の弊害を訴えているけれど、就職してからずっと、極めて長時間の勤務をしていました。終わらない分は家に持ち帰って、子どもを寝かせた後に徹夜したり。一方で、家事も育児もバリバリこなしていました。

でも、二人目の子どもを妊娠したときに、流産しかけたんです。夜遅く、仕事帰りに乗っていた電車が雪で止まって、降ろされて。ガタガタ揺れる雪道をバスで移動していたときに出血したんです。すぐに病院に行きましたが、涙が出ましたね。親失格だと思いました。リスクを承知で無理な働き方をして、一人の人間に対しての責任も持てない自分って何なんだろうって。

でもね、その子はちゃんと生みついてくれたの! 無事生まれ続けて、もしそうでなかったら、私は

PROFILE

上川 陽子 (かみかわ ようこ)

総務副大臣

1953年静岡県生まれ。東京大学(国際関係論専攻)、ハーバード大学ケネディスクール(政治行政学修士)卒業。三菱総合研究所研究員などを経て、2000年静岡一区より衆議院議員に初当選。当選4回。内閣府特命担当大臣(少子化対策・男女共同参画)、公文書管理担当大臣(2008)などを歴任。2013年9月より現職。

ずっと自分を責めていたでしょうね。自分だけのことを考えれば無茶をしてもいいけれど、そうできないときも女性にはあるのだということ

大事なのは、ライフステージに合わせてのめりこめるものをみつめていくことだと思います。育児、仕事、趣味。一人の人間がいくつもの世界を持つことになりませんか。

出会った人々が
背中を押してくれた

私は、仕事も子育てでも経験できたことを、すごく感謝しています。というのも、いつでも背中を押してくれる人がいたから。私の母は、私が小さな頃から何でも「やってごらんよ」と言ってくれました。そして、身を削って私に教育を受けさせてくれた。子育て中も、苦しいときに駆けつけてくれる心強いサポーターでした。大学生のときには、農林大臣、内閣

官房長官などを務めた赤城宗徳さんにお会いし、政治に触れる機会を得ました。きっかけは卒論のためのインタビューだったのですが、その話はまったく覚えてない(笑)。印象深かったのは、赤城さんがなぜ政治家になったのかという話。赤城さんは元々、地元の村の村長だったのですが、村のためには市のことをしなくてはならない。市のためには県のことを、県のためには国のことをしなければならぬ。だから国会議員になったのだとおっしゃいました。その話を聞き、私たちの身の回りの小さなことも、国の政治に直結しているのだと感じました。そして、「あなたはいい顔をしているから、名前を覚えてくね」と言ってもらったんです。すごくうれしかった。私なりに一生懸命話をする姿を見て、前に進もうとする力のようなものを感じてくれたのかなと。それで「よし、がんばろう!」と思ったんです。

子どもたちに
オンリーワンの体験を

子どもたちのためには、学校教育以外に、家族揃って地域参加できる仕組みがもっと必要だと思っています。ボランティアやクリーン作戦など、何でもいんです。地域の中でいろんな体験をすることが社会教育に繋がります。

体験というのは何でも、オンリーワンなんです。何度も繰り返すゲームの中の疑似世界とは違います。同じ状況は二度と起こりません。マニュアルどおりの現実などないのだから、それによって対処していくかを学ぶことは、生

きる力を育むことに他ならないのです。そして、それは体験の中でしか育たないものです。

ママたちに言いたいのは、子どもたちに何でもさせてほしいということ。やってあげるのではなく、「やってごらん」と言ってみることで。「いやだ」と言う子もいるでしょう。でも、「いやだ」という意思表示は、成長の証。いろんなものにぶつかりながら、これだというものを選んでいけばいいんです。

私の二人の娘は、私が仕事をしていた分、寂しい想いをしてきたと思います。その分だけ、子どもたちと接する時間が短かったわけですから。でも、今彼女たちを見ると、私の一生懸命な姿を見て、彼女たちなりに理解してくれていたのかなと思います。それは私にとってもうれしいこと。だから私は、子どもたちだけでなく、ママたちにも「やってごらん」と言いたいんです。

上川先生と
クルール読者の
座談会を企画中!
詳しくはP.25を
チェック!



次号は、上川先生とクルールママたちとの座談会で!

